

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

鳥取県立米子東高等学校

重点項目	大学進学	提出日	令和4年4月19日
------	------	-----	-----------

1 学校目標	
<p>1 主体的な学びの推進</p> <p>(1) アクティブ・ラーニング等による授業改善と適正な評価</p> <p>(2) SSH事業による科学的探究心・情報発信力・実践力の育成</p> <p>(3) 進路指導の充実</p> <p>2 豊かな人間性の育成</p> <p>(1) 主体的・自律的態度の育成</p> <p>(2) 部活動の奨励</p> <p>(3) 体験的な学びの推進</p> <p>3 地域に信頼される教育の展開</p> <p>(1) PTA活動の推進</p> <p>(2) 地域への発信</p> <p>4 働き方改革の推進</p> <p>(1) 時間外業務時間の削減</p> <p>(2) 会議の精選</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>1 教員の授業スキルの向上</p> <p>2 科学的探究心・情報発信力・実践力の育成</p> <p>3 個別学力試験対策の強化（授業・講習）</p> <p><数値目標></p> <p>1 授業アンケート</p> <p>(1) 「この授業は自分にとって満足のいくものだった」の問いに、肯定的な回答が生徒の85%以上</p> <p>2 学校満足度アンケート</p>	<p>1 Chromebook の先行導入に伴い、校内外の研修会に参加するとともに、校内でも研究授業を実施し、ICTを活用した授業展開を研究した。また、ルーブリックによるパフォーマンス評価を適切に行った。</p> <p>2 各種科学コンテスト、土曜活用事業への参加など内外コンクールやコンペに積極的に参加し、上位大会出場者が増加した。総参加者98件・1130人。予選を通過して上位大会へ出場した者21件・70人。</p> <p>3 夏期講習・放課後講習・特別受験対策講習を行った。昨年度並みの受講者があり、個別学力試験対策の強化につながった。また、教員が超進学校を訪問し、質の高い授業を実践する重要性を共有した。</p> <p><数値結果></p> <p>1 授業アンケート「この授業は自分にとって満足のいくものだった。」の問いに、生徒の93.6%が肯定的な回答をし、目標を達成した。</p> <p>2 学校満足度アンケート「学校進路指導体制や資</p>

<p>(1) 「学校の進路指導体制や資料は充実しているか」の問いに、肯定的な回答が生徒・保護者とも80%以上</p> <p>3 大学合格者</p> <p>(1) 国公立大学200人以上</p> <p>(2) 難関大学合格者70人以上 難関大学：旧帝大、一橋大学、東京工業大学、神戸大学、医学科、歯・薬・獣医学部</p> <p>(3) 国公立大学現役合格者160人以上</p>	<p>料は充実しているか。」の問いに、生徒の93.1%、保護者の85.8%が肯定的な回答をし、目標を達成した。</p> <p>3 大学合格者</p> <p>(1) 国公立大学 237人</p> <p>(2) 難関大学合格者 54人</p> <p>(3) 現役合格者 198人</p> <p>(2)は目標を達成できなかったものの、(1)、(3)は目標を達成するとともに、1学年8クラスとしては過去2番目の実績となった。</p>
<p>3 実施事業</p>	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>1 未来を拓く学力向上事業</p> <p>(1) 科学を創造する人財育成事業 鳥取大学医学部医学科教授 植木 賢 氏によるに関する講演、数学コンテスト、理科などの実験体験を行った。県内4校、県外3校の76名の生徒が来校し、参加した。</p> <p>2 外部人材活用事業</p> <p>(1) 社会人講師活用事業 中国語の講師を招聘し、台湾桃園市立陽明高級中学との交流に向けて、中国語や台湾の生活習慣やマナーについて学習した。派遣自体は中止になったが、オンライン交流を実施した。</p> <p>(2) 県立高校・大学教員の教員交流事業 鳥取大学 難波 栄二 教授、竹内 隆 教授を招聘し、生命科学コースの生徒対象の講演を実施した。例年行っていた講演後の実験については、新型コロナウイルス感染予防の観点から実施できなかった。</p> <p>3 ふるさとキャリア教育充実事業（キャリア塾）</p> <p>(1) 大学学部・学科研究 2年次生を対象に、本校を卒業した大学生を講師として大学学部・学科について対面もしくはオンライン形式による講演会を行った。文系、理系及び医療系（医学・看護学）の3系統11講座とし、生徒は希望する2講座を聴講した。</p> <p>4 新しい学びの創造事業</p> <p>(1) 「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業 指揮者 中井 章徳 氏（元くらしき作陽大学講師）による「指揮から学ぶ音楽表現」を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止した。</p> <p>(2) 生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座 鳥取大学教育支援・国際交流推進機構准教授 桐山 聡 氏による講演「論理的思考力を可視化するためのポスターセッション技術」を通じて、生徒は実践的な表現力を学んだ。</p> <p>【独自事業】</p> <p>1 アクティブ・ラーニング推進事業</p> <p>(1) エキスパート教員等との授業交流 全国的に著名なエキスパート教員を招聘して実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症への感染予防のため中止した。</p> <p>(2) 探究的な学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題探究応用」におけるプレゼンテーション講習 鳥取大学桐山 聡准教授によるオンライン講義を実施し、論理的思考力を可視化する方法を学んだ。 ・「課題探究発展」における英語による口頭発表指導補助 	

「課題探究発展」で県内在住外国人による英語指導補助を9回実施した。

・探究的な学習に必要なスキル向上研修

倉敷天城高校教諭 仲達 修一 氏によるオンライン講義を実施し、SSH事業の目指すべき方向性と探究的な学習における評価のあり方とフィードバックの方法について先進的な実践を学んだ。

2 論理的思考力・表現力育成事業

(1) 小論文研修会

学研教育みらい 玉田 真由美 氏による教員研修を実施し、生徒の論理的思考力を高める指導方を学んだ。

3 英語力向上事業

(1) 英語教員研修

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため派遣を中止し、オンライン研究会（ELEC 冬期英語教育研究会、ブリティッシュ・カウンシル中高英語教育ワークショップ）に1名ずつ参加した。

4 進路指導充実事業

(1) 進路講演会

近畿大学参事 屋木 清孝 氏、鳥取大学特任教授 尾室 真郷 氏による講演会をオンラインで実施し、最新の入試情報を生徒に提供した。保護者向けには、ベネッセ・コーポレーションに講演動画の作成を依頼し、Classroom 上で視聴する形態をとった。

(2) 進路指導資料の整備

大学情報・大学入試情報などに関する資料を整備した。

5 難関大学研究事業

(1) 難関4大学教員派遣

東京大学・京都大学については個別訪問ができなかったため、本校からの進学者は少ないが評価の高い名古屋大学（アドミッション部門）及び九州大学工学部を訪問した。

(2) 超進学校への教員派遣

奈良高校・天王寺高校を訪問し、SSHを含めた先進校の指導事例を学んだ。

6 「先端技術・最新知見に学ぶ」研修事業

(1) 発表会・学会等への参加

京都大学ポスターセッション2021にて生徒が研究発表を行った。

7 社会で生きる力向上事業

(1) 社会で生きる力を向上するための先進校教員派遣

相模原高校・長野高校を訪問する予定であったが、新型コロナウイルス感染症への感染予防のため派遣を中止した。

(2) お掃除マイスターによる講演

サニクリーンアカデミー 片岡 修一 氏によるオンライン講演を実施し、掃除の意義や方法を学ぶことを通じて生活や学力の向上につながることを学んだ。

(3) SDGsの推進

とっとりSDGs伝道師（澤田 健吾 氏）による講演会を実施し、地域社会における諸課題について知見を深めた。

4 総合所見（成果・評価）

【高等学校課事業】

1 未来を拓く学力向上事業

(1) 科学を創造する人材育成事業

普通の授業では、体験させることの難しい、発展的内容や興味の湧く課題設定、生徒に試行錯誤や成功失敗を経験させる実施内容は、生徒にとって大変有効なことである。アンケート結果から、本事業が、科学技術や技術革新に関する意識や関心、新たなことを学ぶ探究心、自ら取り組む主体性、問題を発見・解決する力をつけるきっかけとなったことが分かった。

2 外部人材活用事業

(1) 社会人講師活用事業

日本とは異なる文化や生活習慣について知ることで、異文化に対する理解を深めることができた。学んだ中国語表現をオンライン交流において活用することで、英語以外の言語がコミュニケーションツールとして役立つことが実感でき、相互理解が深まった。

(2) 県立高校・大学教員の教員交流事業

生命科学コースの生徒は、講義をとおして、生き物の形の形成や、多くの遺伝病があり、検査によって将来の発病可能性を予測することができることについて学んだ。生徒にとっては、大学レベルの講義を身近に感じる貴重な機会となり、技術的にも倫理的にも考えることが多い内容で、たくさんの示唆を与えていただいた。

3 ふるさとキャリア教育充実事業（キャリア塾）

(1) 大学学部・学科研究

生徒は、大学での授業内容や大学生活の話、高校時代の取組などを聞き、積極的に質問するなどの様子が見られ、進路選択の参考となったようである。具体的な大学生活をイメージする機会を提供することができ、今後の学習に対する動機付けにつながった。

4 新しい学びの創造事業

(1) 「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大により本事業の研修の実施を中止したが、校内でICTの活用をテーマに公開授業を各教科で実施し、「主体的・対話的で深い学び」について学ぶ具体的な機会を設けた。授業アンケート「この授業はアクティブ・ラーニングの手法を取り入れたものになっていた。」についての間に、85.0%の生徒（昨年72.3%）が肯定的な回答をした。

(2) 生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座

事後アンケートによると物事を論理的に考える能力、問題を発見する力、問題を解決する力が向上したという回答が多かった。また、ポスターセッション技術だけでなく、研究への意識の向上が見られるコメントもあった。今年度のSSH研究成果発表会はコロナ感染症対応のため中止となったが、発表会にむけて生徒のテーマがより実態に沿ったものに改善された。

【学校独自事業】

1 アクティブ・ラーニング推進事業

(1) エキスパート教員等との授業交流

全国的に著名なエキスパート教員を招聘して、アクティブ・ラーニングの研修を行う計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症への感染予防のため中止した。年度当初からパフォーマンス評価等による授業改善などを適切に行うとともに、Chromebookの先行導入に伴い、校内外の研修会に参加することによって教員の教科指導力を向上させ、学習に主体的に取り組む生徒を育成した。

(2) 探究的な学習の推進

・「課題探究応用」におけるプレゼンテーション講習

「課題探究応用」では、プレゼンテーション講習は、昨年のものから演習を重視し実践力の向上を目指したものに内容を改善し実施できた。また、学校満足度アンケート「SSHによって発表する力(レポート作成力、プレゼンテーション力)が増したか」の間に、81.3%の生徒（昨年72.3%）が

肯定的な回答をした。

・「課題探究発展」における英語による口頭発表指導補助

「課題探究発展」では発表手法に加え、英語での表現力・発信力も身につけている。SSH研究成果発表会では中止となったが、代表生徒はさらに発表手法・技術を磨くことができた。

・探究的な学習に必要なスキル向上研修

探究に関わる全教員を対象として実施し、SSH事業の意図と生徒の育成について、教員間で意識の共有と指導力の向上が図られた。

2 論理的思考力・表現力育成事業

(1) 小論文研修会

小論文指導や近年の出題パターンを学ぶとともに、志望理由書についての指導法を学び、受験指導に活かすことができた。

3 英語力向上事業

(1) 英語教員研修

英語教育に関する研修会に参加し、英語4技能を伸ばす授業の実践方法などを学んで指導力を向上させ、生徒に還元した。

4 進路指導充実事業

(1) 進路講演会

生徒や保護者のニーズに即し、新入試に向けた情報を生徒に的確に提供することができ、生徒の学習意欲の喚起につながった。

(2) 進路指導資料の整備

学校満足度アンケート「学校の進路指導体制や資料は充実しているか」の間に93.1%の生徒（昨年84.7%）が肯定的な回答をした。

5 難関大学研究事業

(1) 難関4大学教員派遣

学校推薦型選抜入試・総合型選抜入試の出願状況、求める生徒像、SSH探究活動との合致点などについて情報収集を行い、教員間で共有した。

(2) 超進学校への教員派遣

質の高い授業の実践や探究活動の成果を難関大学への進学につなげていく取組について学び、進路指導に活かすとともに、「課題探究発展」の内容改善に取り入れている。

6 「先端技術・最新知見に学ぶ」研修事業

(1) 発表会・学会等への参加

参加生徒は京都大学ポスターセッション2021で研究の成果を発表することを通して、発表の手法を習得し、課題の解決策を探究する姿勢を身につけた。

7 社会で生きる力向上事業

(1) 社会で生きる力を向上するための先進校教員派遣

派遣を中止としたが、学業と部活動との両立で顕著な成績をあげるとともに、生徒指導において規範意識の高い生徒を育成している高校の情報を収集し、その実態に学んでいる。

(2) お掃除マイスターによる講演

お掃除マイスターによる講演が問題解決志向の姿勢や日常を振り返る習慣付けをもたらす機会となっており、学校生活において良い影響を与えている。

(3) SDGsの推進

SDGsに係る専門家による講演を通して、経済・環境・社会の諸課題に対して見識を深めるとともに、生徒会でもセミナーを開くなど活動を拡大している。

※枚数任意